

序

耳鼻咽喉科が外科から独立したのは、その専門性が重視されたからであつた。その後研究が進み、細かく分化されていくにしたがつて、他領域との関連性が薄くなり、視野が狭くなる傾向があつた。しかし耳鼻咽喉科疾患も、全身的な疾患として捉えねばならないことは当然である。このような観点から、最近の特集号は、耳鼻咽喉疾患を全身的に見るという考えで企画されている。

昨年は治療のコツとして、疾患別に方法と注意点を、縦に見た形で記述されたが、今回は、古くて新しいショックを始め、薬物の使用法、治療方法などを、基礎的な理論と、実施方法などを、横に見た形で書かれている。前回の特集と併せ読まれることによつて日常診療に一層役立つであろう。

題名をつけるのは大変むずかしい。人の名前のように、内容に関係ないものならば、どのようにつけてもよいが、特集号では苦勞する。短い文章で内容が推定できしかも魅力的でなければいけない。映画の題名などは実にうまいと思う。もちろん学術誌なので、題名はあまり重大ではなく、内容が充実して、よく理解されれば、十分に目的は達せられるのである。「日常診療に必要な知識」という題名は平凡であるが、内容は題名を補つて余りあるものである。

本文は5項目に分類したが、読みやすいようにしたもので、便宜上のものである。

ご執筆頂いた諸先生の絶大な努力に敬意を表すると共に、謝意を表するものである。

(編集委員)